



とちぎマイスター「仕上げ（金型仕上げ作業）」の技能の例 金型製作の経験を活かし、海外金型メーカーの新規開拓と指導

まつお まさのり
松尾 政典

栃木市 在住

日立アプライアンス(株) 栃木事業所(生産技術部金型グループ TEL 0282-43-1122(代表))

安価で良質な金型を成形メーカーへ供給するために

(現在の仕事)

冷蔵庫、エアコン用プラスチック金型の国内外からの調達を業務としており、メーカー指導、試運転立会い、量産立ち上げ、量産後の修理も行っている。また、海外工場の金型立ち上げ支援も行う。

(得意な分野)

やすりを使用したミクロン単位の精密さを求められる金型部品仕上げ作業を得意とする。また、量産金型の突発故障や新規製作金型試作時の不具合対応の経験が多く、的確な原因究明から最短時間での修正方法を立案し、自ら修正作業を実施または作業指導する一連の金型修理作業にも長けている。

総合的に判断できる人間に

金型製作において、技能習得には長い時間が必要であるが、仕上げだけでなくいろいろな分野にも挑戦し、総合的に判断できる人間になってほしい。

ものづくりをする上で、技能や技術のほか、探究心も重

要である。仕事に対し、常に「今のやり方で良いのか」、「新しい方法はないか」を模索していただきたい。また、失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジしてほしい。

仕事柄、海外へ行くことが多いが、日本の金型は本当に素晴らしいと感じる。この技術は後世に伝えていくべきであり、そのお役に立てればと思う。

